

西暦 2022年6月6日 (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご理解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

#### [研究課題名]

肺癌術前の筋量・筋力が術後に与える影響を明らかにする

[研究責任者] 水戸医療センター 医師 中村 亮太

[研究の概要] 患者の高齢化に伴い、術前併存疾患を有する症例が増加している。術前の評価がより重要となっており、適切な対処が望まれる。我々は、骨格筋と肺癌治療について検討を重ねてきた。2019年にアジア版サルコペニアのガイドライン改定が施行され、新しい知見が加えられた。そこで、①：術前筋量を Bioelectrical impedance analysis(BIA法)を用い skeletal muscle index を算出、②：術前筋力を肺機能検査から peak expiratory flow rate(PEFR)を選択。各々の cut off 値から正常群 VS 異常群として臨床・病理的な特徴を比較検討し、術後に与える影響を明らかにすることを目的とします。

●対象となる患者さん

当院で、肺癌の診断で手術が施行された患者さん。

●利用する検体、カルテ情報および病理検体。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、病理検査）、治療内容、治療経過、術前骨格筋量、呼吸機能検査などの術前検査項目、及び経過観察のデータ。

●研究に関わる研究責任者

水戸医療センター 外科 中村亮太

●試料・情報の管理についての責任者

水戸医療センター 外科 中村亮太

●利用する者の範囲

研究代表者（中村亮太）もしくは、研究分担者

本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施される。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施します。通知の方法は国立病院機構水戸医療センターのホームページに掲載または病院内に掲示することで行います。

【個人情報の取扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 国立病院機構水戸医療センター 外科医師 中村 亮太

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788